

SSKS

VOL.133

結の実通信133号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長 小林 輝彦

暑い夏もまもなく終わろうとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか？今年度2回目の通信となりますが、今回は、個人的なことも含めてこの夏の様子についてお話ししたいと思います。

とにかく暑い！！夏でした。入居者の皆様にとってもきつかったようで、公共交通機関を利用して通所しているNさんはかなりのバテ気味でした。他の方もはっきりとわからなくても、なんとなくいつもと様子が違う、調子が悪そう、もしかしたら暑さのせいかも？と思われることが多々ありました。

一方で、新型コロナウイルスの位置づけが2類から5類に変更になったことに伴い、365日ホーム利用している入居者の外出機会は増えています。この夏もガイドヘルパーさんと楽しくお出かけしていた様子です。

私自身は、8月半ばに新型コロナウイルスに感染して、しばらく療養生活を送りました。振り返ると、暑さで疲れがたまり、勤務も忙しく、免疫力が低下していたのかなと考えています。「10年に1度の災害級の暑さ」ではなく、これが当たり前になりつつあるのかもしれない。入居者も職員も健康に最大限気をつけながらも、この生活を楽しめたらと思います。

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

ゆいの夏

皆さん今年の暑い夏はどうお過ごしですか？今回は「ゆいの夏」をテーマにお話をさせていただきます。

6月からガイドヘルパーを利用した外出を再開したため、職員数名に「夏のお勧めの外出先は？」と聞いたところ様々な意見が出ました。その中で「夏とったらやっぱり水族館🐠。外は暑いけど建物の中は涼しく、海や川といった夏の雰囲気を楽しみに味わえる。」・・・それを聞き「確かに！！」と納得しました。さっそく江ノ島水族館へ。水族館に行った入居者は、帰ってきてから笑顔で魚の話をよくしてくれるようになりました（写真左）。



ゆいの入居者は、日中活動先が個々に違うという特徴があります。現在4か所を利用しています。活動先によって夏休みがあるところとないところがあります。

夏休みがあった入居者2名は、お昼のランチでサイゼリヤに行ってきました。ゆいの入居者はみんなとってもお肉好きなのです。2人ともハンバーグを選び・・・心の中でやっぱり～と思ってしまいました（笑）

行ったのはサイゼリヤでしたが、なぜか「ココスに行ってハンバーグ食べたんだよ。」と行き先が変わってしまいました・・・なのでココスに行ってハンバーグ食べた事になっています（写真右）。

～ 外部研修・講習会報告 ～

障がい者施設職員向け歯科保健講習会

2023年7月25日(火)に zoom でのオンライン講習を受講させて頂きました。

ゆいでは、そこまで拒否は強くないですが、感覚の過敏があって唇の裏に力を入れて歯にくっつけてしまう利用者さんがおられ、最初はどうしたものかと悩みました。また、電動歯ブラシを使用したことがなく、どのように動かして1つの歯に対してどれくらい磨いたら良いのか分からず、教えてくださるスタッフさんが思わず吹き出してしまうくらい恐々持っていたことを覚えています。

今回の研修では、もっと激しく歯磨きが苦手な利用者さんに対して安全に磨けるような磨き方を教えて頂く講習でした。まず驚いたのが、疲労や空腹時、睡眠状態も歯磨きに影響を与えるということです。自分では、歯磨きは習慣となっていますし嫌なものではないので、普段考えたこともなかったですが、苦手な利用者さんにとっては、原因となりうるということを知り、障がいの方を知ろうとする努力が足りなかったなと反省しています。

次に驚いたのは歯ブラシです。かため・ふつう・やわらかめと表記してあるのをドラッグストア等でよく目にしますが、好みの問題だと思っていました。今回の研修で、やわらかめでは歯垢が取れないことを知り、歯ブラシの硬さには意味があったのだと驚きました。また、歯ブラシの形状も、ビトーンなどの山切り型やデンターシステムなどの細めの毛先など様々で、それぞれ歯と歯の間が大きく空いているタイプに有効や歯ぐきの中に毛先が入ることが出来るなど、独自の特徴があり、それらを用いればより支援しやすい磨き方になるなど改めて感じました。

研修で見た映像の中で一番衝撃的だったのは、歯肉が増殖してしまっている歯ぐきの映像でした。歯と歯の間に歯肉が入り込み、痛みがあるのかどうかは分かりませんが、痛そうな印象を受けました。原因が抗てんかん薬を長期間服用したことによる副作用と聞き、ゆいでも抗てんかん薬を服用しておられる方がいらっしゃいます。将来は、この映像のような歯ぐきになってしまう可能性があるのかもしれないと考えると、この状態での口腔支援をするイメージをすると歯ブラシで触れるのが恐ろしいと思ってしまいました。

この先、ゆいに歯磨きが苦手な利用者さんが入居される可能性もあるので、口腔支援について不安を抱えないよう、情報を共有して不安を感じることがないようにしたいと思います。

加藤 郁恵

虐待防止研修・権利擁護研修

今年度も東京都が開催する障害者虐待防止・権利擁護研修をサービス管理責任者として9月11日に受講しました。今年度は2回目の受講ということもあり、虐待を起こさない・起こさせない組織にするためには、どのような取組みを進めていく必要があるのか、とても考えさせられる機会となりました。

研修受講後から、事業所の取組みチェックリストと支援者のチェックリストを活用することを決めました。定期的にチェックリストで確認すること、また「虐待」「尊厳」というワードを、日々の業務の中で考えることが大切です。そして何より、「虐待」という負のイメージは言葉として出しにくい雰囲気がありますが、支援者が言葉に出し話し合える雰囲気に変える必要があります。

ただし、研修の受講がゴールではありません。研修で学んだことを実践で活かし、支援する中で常に不適切な支援となっていないか振り返り、虐待防止・権利擁護について伝達することで、入居者にとって「まな」と「ゆい」がより良い環境となるようにしていきたいと思います。

佐藤 ひかり



グループホーム等連絡会

9月19日、町田市知的障がい者グループホーム等連絡会主催の研修会「適切なグループホーム運営のために」を受講しました。当日は、町田市役所指導監査課の職員の方をお招きして、指導監査に関する注意事項について学びました。13法人20名の参加者が、皆熱心に話を聞いていました。特に、虐待防止やBCP、感染症対策など、新しく義務化された（これから義務化される）事項に関しては、大変勉強になったと感じています。

まな、ゆいは、数年前に町田市による監査を1度受けております。また近いうちに2回目の監査もあると予想されます。今回学んだことを法人内で検討し、監査に備えるつもりです。また、監査のための準備だけでなく、日頃から適正なグループホーム運営を行うために努力していきたいと考えています。

小林 輝彦

6回目となる「紹介」ページですが、今回は役員として結の実を支えて下さっている廣瀬礼子さんをお願いいたしました。

「見えないように見えること」

こんにちは。理事の廣瀬です。只今、近くの幼稚園の運動会練習で流れるマツケンサンバを応援にこの文章を書いています。秋ですね。

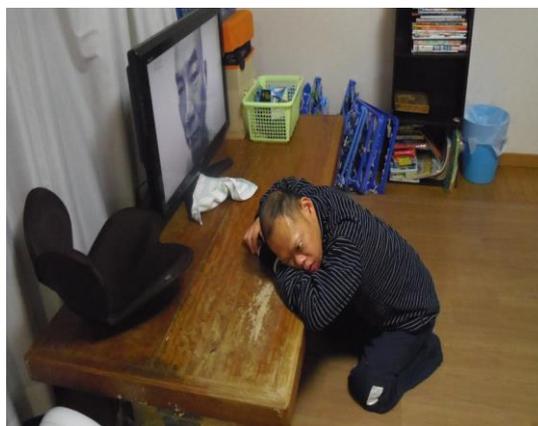
皆さんは過去に、三日坊主に終わった経験はありますか？私は、筋トレ、柔軟、ラジオ体操、英語、どれも1人でこっそりと本やYouTubeのお世話になりながら行い、すべて三日坊主に終わっていました。その中で特に優先的に取り掛かりたかったものは筋トレです。なぜなら「廣瀬さん、70で遊ぶためには50から筋トレよ！」とアドバイスをもらっていたからです（その時点ですでに私は50代前半。現在は余裕で後半）。昨年、友人から「私でも続けられたから大丈夫」と紹介され、フィットネスクラブに入会をしました。女性専用、筋トレの種類がシンプル、1回30分でさくっと終わり、そしてインストラクターからの励ましが必ず毎回あるところです。「れいこさん、こんにちは」「れいこさん、体調はどうですか？」「れいこさん、いい汗かいていますね」「れいこさん、いいですね、その調子」と毎回たくさん声を掛けられ、私のやる気モチベーションは大きく上がりました。先日、「れいこさん、いい溜息。チャレンジハードできていますね！」とほめられました。彼女は直前に別の方につきっきりで関わっており私のことを全く見ていなかったのですが、ため息1つから私の頑張りをキャッチ！またある時期、マシンを動かすことも合間の有酸素運動もしっかりやっているにも関わらず心拍数があまり上がらなかったため、インストラクターの声掛けからマシンを大きく動かすようにしました。すると心拍数はすぐに変化！月1回の計測で前月と同じだけ頑張ったのに筋肉量が減り、体脂肪が増えた際は、「???」となったものの、判明した原因は寝不足続き！

見えないように見えること。「見えないところ」があって「見える」。見えないところが大事、と肝に銘じて日々過ごしたいと思う今日この頃です。

廣瀬 礼子

事務局からのお知らせ

- ☆ 2023年度第3回理事会が2023年8月26日に開催されました。理事会では、2023年度第1四半期会計報告、就業規則改正について、BCP（事業継続計画）についてなど、複数の議題について討議が行われました。BCPに関しては、2024年度からの策定が義務化されていますが、今理事会で感染症BCP、非常災害BCPの2つが承認されました。
- ☆ 2023年度第1回結の実虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会が、2023年8月26日理事会開催前の時間帯に開催されました。委員会の開催は、2022年度よりグループホーム運営事業者に義務化されています。結の実では年度中に3回の委員会を開催予定です。今回の委員会では、虐待防止チェックリスト導入に関する事項、虐待防止マニュアルに関する事項について話し合いが行われました。
- ☆ ホーム・まな、ホーム・ゆいが第3者評価機関による第3者評価受審を現在行っています。9月末段階で、入居者や職員からのアンケート調査、まなゆいへの訪問調査を踏まえた最終報告に関するフィードバックを行っている状況です。まもなく、ホームページ上で第3者評価受審内容の閲覧ができる予定です。「とうきょう福祉ナビゲーション」で検索していただければ、閲覧することができます。



特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費 2000円

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

* 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。

* 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

寄付 3名 （2023年6月25日～2023年9月15日）

明滝光子 葛生禎子

2023年度 更新会員 51名 （2023年6月25日～2023年9月15日）

明滝光子 大里規子 葛生貞子 坂口聖子 田島孝子 野本きみ子 山田都
カトー保険事務所

2023年度 新規会員 0名 （2023年6月24日～2023年9月15日）

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

結の実通信 132号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : yuinomi@star.ocn.ne.jp

ホームページ <https://yuinomi.org>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドウーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円